

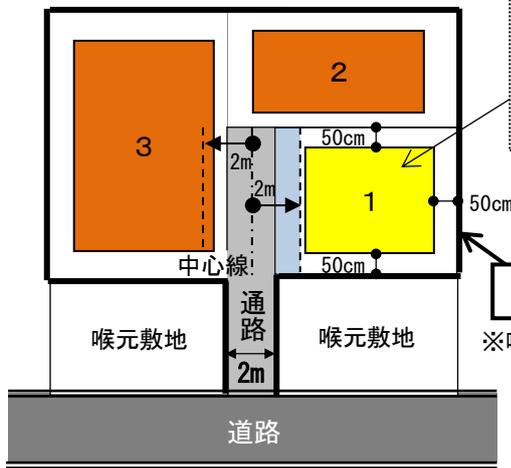
建築基準法第43条第1項ただし書に関する許可基準 見直しの概要

1 新たな許可基準を整備

権利者の承諾が必要となる無接道敷地について、客観的な安全性を確保することで、道路と通路の角敷地（喉元敷地）の権利者の承諾を不要とする。

適用要件：現在の通路幅 2m 以上、その通路にのみ接する無接道敷地の数 3 以下、前面に幅 4m の空地を確保

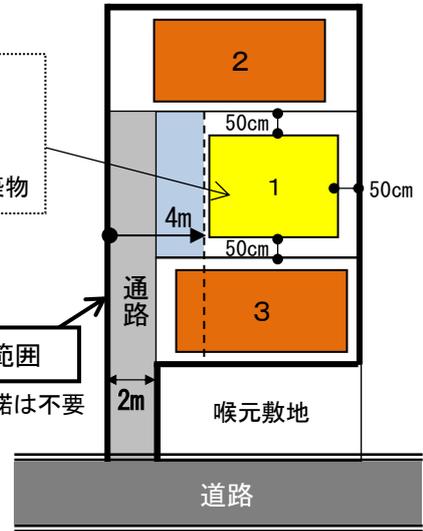
①通路の両側に無接道敷地がある場合



②通路の片側に無接道敷地がある場合

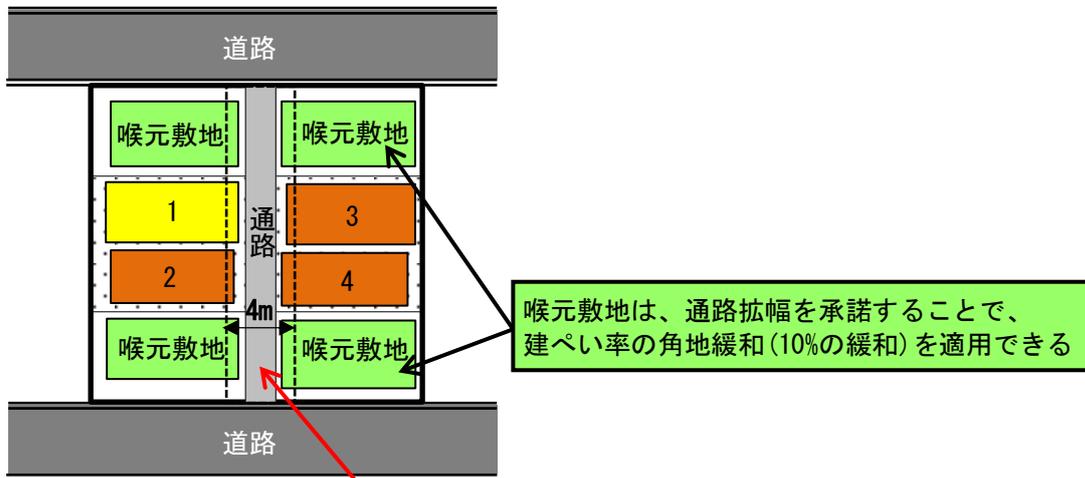
- 建築物
- ・階数 2 以下
 - ・専用住宅
 - ・耐火又は準耐火建築物

承諾が必要となる範囲
※喉元敷地の権利者の承諾は不要



2 現行の許可基準を適用する場合に、喉元敷地にも建ぺい率の角地緩和を適用

2つの道路の角敷地に適用される建ぺい率の角地緩和（10%の緩和）を、喉元敷地にも適用できるようにすることで、喉元敷地の権利者の承諾を得やすくする。



現在の通路幅「1.8m」以上を「4m」に拡幅する